



2019年8月14日

各位

会社名 株式会社ココカラファイン
代表者名 代表取締役社長 塚本 厚志
(コード番号 3098 東証第一部)
問合せ先 上席執行役員
コーポレートリレーション部長 森 俊一
兼 管理本部 総務部長
(TEL 045-548-5937)

株式会社マツモトキヨシホールディングスとの経営統合の協議開始についてのお知らせ

当社は、当社と株式会社マツモトキヨシホールディングス（以下「マツモトキヨシホールディングス」という。）との経営統合に向けた協議を開始することを、本日開催の取締役会において、決議（以下「本決議」といいます。）いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 本決議の背景

当社は、2019年6月1日付「スギホールディングス株式会社との経営統合に関する検討及び協議開始のお知らせ」及び「(開示事項の経過) 株式会社マツモトキヨシホールディングスとの資本業務提携に関する検討及び協議開始のお知らせ」において公表いたしましたとおり、各社との資本業務提携又は経営統合に関する検討及び協議を行ってまいりました。

一方で、同月10日付「特別委員会の設置に関するお知らせ」でお知らせいたしましたとおり、当社は、かかる判断過程の客観性と公平性を確保し、当社の忖意性を排除するために、特別委員会において、マツモトキヨシホールディングス及びスギホールディングス株式会社のそれぞれの提案について、総合的に検討していただき、同年8月7日付で、特別委員会による検討結果の報告を受けました。

当社は、取締役会において、特別委員会における検討と並行して、各社からの提案内容についての詳細な説明を受け、主として当社の経営課題克服の観点から検討を行い、最終的に、上述の特別委員会の報告内容も踏まえ、以下のとおり検討及び確認を行い、当社の中長期的な企業価値及び当社株主の利益を向上させる観点から、マツモトキヨシホールディングスとの経営統合に向けた協議を開始することを決定しました。なお、当社取締役会によるかかる決定内容は、上述の特別委員会の報告内容と矛盾するものではありません。

- (1) 当社の具体的な経営課題を克服する解決方法として、当社のみで実現することは容易ではなく、他社と統合することが適切であること。
- (2) マツモトキヨシホールディングスとの統合により、店舗作業の効率性やプライベートブランド商品の開発などについて、大きなシナジー効果が生じる可能性があり、それらのシナジー効果をより効果的に発現させることにより、当社株主が保有する株式の価値が最大化する可能性があること。
- (3) 当社の中長期的な企業価値及び当社株主の利益の向上に資すること、また、経営統合を現時

点で実施することについての合理的な理由も存在すること。

2. 今後の予定

当社とマツモトキヨシホールディングスとの間の今後の協議に係る日程については、今後両社で検討し、決定し次第詳細をお知らせいたしますが、当社といたしましては、可及的速やかにマツモトキヨシホールディングスに対して独占交渉権を付与する予定です。その後、当社といたしましては、マツモトキヨシホールディングスとの基本合意を締結し、両社協議のうえ最終契約を締結する意向です。

以上